



鈴木 武 様(投稿者/担当編集委員/査読員)

[メインメニュー](#) [本人情報変更](#) [利用の手引き](#) [ログアウト](#)

土木学会論文集 投稿システム

## 参考文献の記載ガイド

### はじめに

当「参考文献の記載ガイド」は、論文作成時に、末尾に掲載する参考文献の書き方のガイド案です。「投稿の手引き」第5章第11節「参考文献」の項(以下に示します)で示されている記載の基準に基づいた、詳細な記載ガイドとなっています。

特に「Word組版ツール」を使う場合には、当記載ルールに基づいて組処理が行われ、J-STAGE上で参考文献同士を相互参照する仕組み(クロスレファレンス)に反映されて、自著論文が参照される機会の増大につながります。「参考文献作成用excelテンプレート」(所定の位置に書き込むと記載ルールに従った参考文献リストに自動変換する)を用意していますので、これを活用するなどして、この記載ガイドに従って作成してください。

## 5.11 参考文献(「土木学会論文集投稿の手引き」第5章投稿原稿の書き方)

参考文献は入手可能なものだけに限り、投稿中の論文などは引用しないで下さい  
また、掲載可となった論文は電子ジャーナルとして公開され、論文中の参考文献についてはクロスリファレンス機能が個別に付加されます。参考文献のリンク間違いを防ぐために、以下に示す書式や記載場所等に関する注意事項を必ず守って下さい。

- ・ 参考にした文献は引用順に番号をつけて本文末にまとめて記載し、本文中にはその番号を右肩上に示して文末の文献と対応させて下さい。
- ・ 参考文献は、論文登載後に時間が経過しても入手可能なものだけを挙げて下さい。インターネット上のホームページについても、半永久的にたどれるものに限ります。私信なども含めそれ以外は、本文末の参考文献に挙げずに本文中または脚注で示して下さい。
- ・ 参考文献の書き方は、著者名、論文名、雑誌名(書名)、巻号、ページ、発行年の順に記入して下さい。英文の雑誌の場合は、姓、イニシャルとして下さい。著者数が多い場合でも参考文献リストには全ての著者名を記載して下さい。ただし、本文中で引用する場合には、3名以上の場合に限り、第一著者のみを書き、あとを“ほか”もしくは“et al”などと省略してかまいません。単行本の場合は、著者名、書名、ページ、発行所、発行年とします。英文の単行本の場合は、書名は各単語とも頭文字は大文字として下さい。雑誌名、書名はイタリック体にして下さい。詳細については記入例を参考にして下さい。

### 【参考文献の記入例】

- 1) 本間 仁, 安芸皓一 : 物部水理学, pp. 430-463, 岩波書店, 1962.
- 2) Miles, J. W. : On the generation of surface waves by shear flows, J. Fluid Mech., Vol. 3, Pt. 2, pp. 185-204, 1957.
- 3) 日本道路協会 : 道路橋示方書・同解説IV 下部構造編, pp.110-119, 1996.

- 4) Miche, M. : Amortissement des houles dans le domaine de l'eau peu profonde, La Houille Blanche, No. 5, pp. 726-745, 1956.
- 5) Gresho, P. M., Chan, S. T., Lee, R. L. and Upson, C. D. : A modified finite element method for solving the time-dependent incompressible Navier-Stokes equations, part 1, Int. J. Numer. Meth. Fluids, Vol. 4, pp. 557-598, 1984.
- 6) 岡村 甫, 前川宏一: 鉄筋コンクリートにおける非線形有限要素解析, 土木学会論文集, No.360/V-3, pp.1-10, 1985.
- 7) C. R. ワイリー(富久泰明訳): 工学数学(上), pp. 123-140, ブレイン図書, 1973.
- 8) Smith, W. : Cellular phone positioning and travel times estimates, Proc. of 8th ITS World Congress, CD-ROM, 2000.

## 1. 著者名

### 1.1 著者名(和文)

複数著者がいる場合には, 全角カンマ<, >で区切る. 原則として姓と名の間は詰める. ただし, 姓や名が一文字の場合など判別しにくい場合には全角スペースを空けてもよい. 末尾に全角コロン<:>を記入する.

### 1.2 著者名(欧文)

姓,名の順で表記. 名は先頭文字のみ大文字で表記し半角ピリオド<.>で省略を示す. 3名以上の複数著者がいる場合には, 半角カンマ<,>で区切り, 最後の著者は<and>でつなげる(2名の場合は<and>のみ). 末尾に半角コロン<:>を記入する.

### 1.3 注記

著者数が多い場合でも全ての著者名を記載する.  
<van><de>などの前置詞は後ろに置く.

## 1.4記載例

本間 仁, 安芸皓一

Shepard, F. P. and Inman, D. L.

Gresho, P. M., Chan, S. T., Lee, R. L. and

Upson, C. D.

Kessel,Chris van

## 2.冊子名

### 2.1 冊子名(ジャーナル)

#### 2.1.1和文

原則として正式名称を記入.

#### 2.1.2欧文

原則として正式名称を記入, ただし慣用的に使われる略称表記も可とする. 半角小文字とし先頭文字のみ大文字で表記する. イタリック体とする(\*ツールでは自動変換される).

#### 2.1.3注記

ジャーナルの場合には必ず論文名が空欄でないことが必須(\*ツールではエラー表示).

#### 2.1.4記載例

土木学会論文集A1(構造・地震工学)

International Journal for Numerical Methods  
in Fluids

### 2.2冊子名(書籍)

#### 2.2.1和文

原則として正式名称を記入する. 副題がある場合には全角スペースのあとにつなげる.

## 2.2.2 欧文

原則として正式名称を記入する。副題がある場合には半角ハイフン<->などで区切りがわかるようにつなげる。  
イタリック体とする(ツールでは自動変換)。

## 2.2.3 表記例

道路橋示方書・同解説 IV下部構造編  
Karl Terzaghi -The Engineer as Artist

## 2.3 冊子名(その他—翻訳書, 全集, シリーズ図書, 写真集, 辞書等)

### 2.3.1 和文

原則として正式名称を記入する。副題がある場合には全角スペースのあとにつなげる。

### 2.3.2 欧文

原則として正式名称を記入する。副題がある場合には半角スペースのあとにつなげる。  
イタリック体とする(ツールでは自動変換)。

### 2.3.3 注記

翻訳書の場合には原書名を末尾に記載する。  
全集, シリーズ図書の場合には全集編者・書名, シリーズ編者・書名を冊子名に続けて記載する。  
写真集の場合は写真著者を優先し, 文の著者は「文」を付して続ける。  
その他事典, 辞書, 白書, 統計書, 規格等については表記例を参照。

### 2.3.4表記例

Goodman,R. E.:土質力学の父 カール・テルツァーギの生涯, 赤木俊允訳, pp.430-436, 地盤工学会, 2006, Karl Terzaghi -The Engineer as Artist, 1998.  
新谷洋二:土木行政と関連制度, 土木学会編, 新体系土木工学, vol.48,pp.276-278, 技報堂出版, 1985.12.  
土木学会編:アーク切断工法, 土木用語大辞典, p.1, 技報堂出版, 1999.  
国土交通省編:第1部第1章第2節変わりつつある地域, 国土交通白書2010, pp.16-23, 日経印刷, 2010  
土木学会編:JSCE -F531-2010 PCグラウトの流動性試験方法(案), コンクリート標準示方書 基準編 2010年制定, pp240-241, 土木学会, 2010.

## 3. 論文名

### 3.1和文

原則として正式名称を記入する。副題がある場合には全角スペースのあとにつなげる。

### 3.2欧文

原則として正式名称を記入する。副題がある場合には半角スペースのあとにつなげる。

### 3.3注記

電子ジャーナル論文の場合にはDOI\*を記入しても可とする。(記入欄が必要)  
\* デジタルオブジェクト識別子(ーしきべつし、Digital Object Identifier、略称DOI)は、インターネット上のドキュメントに恒久的に与えられる識別子である。

### 3.4表記例

傳田 正利, 天野 邦彦, 辻本 哲郎: 魚類自動追跡システムの現地実証実験と魚類行動特性の把握, 土木学会論文集B, Vol. 65, No. 1, pp.1-14,2009, doi:10.2208/jscejb.65.1  
Gresho, P. M., Chan, S. T., Lee, R. L. and Upson, C. D. : A modified finite element method for solving the time-dependent incompressible Navier-Stokes equations, part 1, International Journal for Numerical Methods in Fluids, Vol. 4, pp. 557-598, 1984.

## 4. 巻・号・頁・発行年

### 4.1 巻数

#### 4.1.1和文

Volのあとに半角ピリオドを表記し半角数字で巻数を記載. 区切りは半角カンマ<,>.

#### 4.1.2欧文

Volのあとに半角ピリオドを表記し半角数字で巻数を記載. 区切りは半角カンマ<,>.

#### 4.1.3表記例

Vol.23,

### 4.2 号数

#### 4.2.1和文

Noのあとに半角ピリオドを表記し半角数字で号数を記載. 区切りは半角カンマ<,>.

#### 4.2.2欧文

Noのあとに半角ピリオドを表記し半角数字で号数を記載. 区切りは半角カンマ<,>.

### 4.2.3表記例

No.10,

## 4.3 頁

### 4.3.1和文

1ページのみの場合にはpのあとに半角ピリオドを表記し半角数字で頁数を記載. 複数ページの場合にはppのあとに半角ピリオドを表記し開始ページ数を半角数字で記載, ハイフン<->に続けて終了ページを半角数字で記載. 区切りは半角カンマ<,>.

### 4.3.2欧文

1ページのみの場合にはpのあとに半角ピリオドを表記し半角数字で頁数を記載. 複数ページの場合にはppのあとに半角ピリオドを表記し開始ページ数を半角数字で記載, ハイフン<->に続けて終了ページを半角数字で記載. 区切りは半角カンマ<,>.

### 4.3.3表記例

p.14,  
pp.14-15,

## 4.4 発行年

### 4.4.1和文

西暦数字4桁で表記. 月がある場合には半角ピリオドのあとにつなげる.  
末尾は半角ピリオドで終了.

### 4.4.2欧文

和文同様西暦数字4桁で表記. 月がある場合には半角ピリオドのあとにつなげる.  
末尾は半角ピリオドで終了.



#### 4.4.3表記例

1984.2.

## 5. 編・訳者名, 版, 章, 出版社, 出版地

### 5.1 編・訳者名

#### 5.1.1 和文

編・訳者名は書名に続けて記載し, 末尾に<編><訳>を表記する.  
区切りは全角カンマ<, >とする.

#### 5.1.2 欧文

編・訳者名は書名に続けて記載する.  
編者が1人の場合は<ed.>複数の場合は<eds.>と表記する.  
訳者が1人の場合は<tr.>複数の場合は<trs.>と表記する.  
区切りは半角カンマ<,>とする.

#### 5.1.3 表記例

Goodman,R. E.:土質力学の父 カール・テルツァーギの生涯, 赤木俊允訳, pp.430-436, 地盤工学会, 2006, Karl Terzaghi -The Engineer as Artist, 1998.

\* 注:「和文書式例」では, 以下のように, 訳者を著者に続けて括弧で括って示している.  
C. R. ワイリー(富久泰明訳):工学数学(上), pp.123-140, ブレイン図書, 1973.  
要修正!!

### 5.2 版

#### 5.2.1 和文

第3版, 1990年改訂版などと表記する.

## 5.2.2 欧文

3rd ed.,などと表記する.

## 5.2.3 表記例

土木学会: 土木学会製図基準, 2009年改訂版, pp.152-153, 2009.2.

## 5.3 章

### 5.3.1 和文

章の著者を著者名に表記し, 章のタイトルを論文名に表記する.  
続けて全体の編者を表記し書籍名を続ける.  
区切りは全角カンマ<, >.

### 5.3.2 欧文

和文同様, 章の著者を著者名に表記し, 章のタイトルを論文名に表記する.  
続けて全体の編者を表記し書籍名を続ける.  
区切りは半角カンマ<,>.

### 5.3.3 表記例

松浦茂樹: 第1章明治初頭の河川行政, 土木学会土木図書館委員会編, 沖野忠雄と明治改修, pp.5-6, 土木学会, 2010.3.

## 5.4 出版社名

### 5.4.1 和文

書籍の場合はページのあとに表記する. 区切りは全角カンマ<, >.

### 5.4.2 欧文

書籍の場合, ページのあとに表記する. 区切りは半角カンマ<,>.

### 5.4.3表記例

本間 仁, 安芸皓一: 物部水理学, pp.430-463, 岩波書店, 1962.

## 5.5 出版地名

### 5.5.1和文

国際会議など出版地表記が必要な場合には  
出版社の前に表記する.  
区切りは全角カンマ<, >.

### 5.5.2欧文

国際会議など出版地表記が必要な場合には  
出版社の前に表記する.  
区切りは半角カンマ<,>.

### 5.5.3表記例

Proceedings of 8th ITS World  
Congress ,Sidney,2001.

## 5.6 媒体等

### 5.6.1 和文

CD-ROMなど媒体表記をする場合には末尾  
に表記する.  
区切りは全角カンマ<, >, 最後尾は半角ピ  
リオド<.>

### 5.6.2欧文

CD-ROMなど媒体表記をする場合には, 和文  
同様, 末尾に表記する.  
区切りは半角カンマ<,>, 最後尾は半角ピリ  
オド<.>.

### 5.6.3表記例

Proceedings of 8th ITS World  
Congress ,Sidney,2001,CD-ROM.

\* 注: 手引きの「和文書式例」では, 以下のよ  
うに, CD-ROMの位置を発行年の前に持って  
来ている. 基本的な考え方としては, 著者・タ  
イトル・出版の書誌事項が基本で, それ以外  
はその他となるので, 末尾につけるべきかと  
思われるが, 要検討である.

Proc. of 8th ITS World Congress, CD-  
ROM,2000.

要修正！！(ちなみに発行年は2001が正解)

[マニュアルへ戻る](#)

---